

信秋タイムズ

第3号

新潟

安全で美しいふる里をつくろう

地域づくり
一筋の人生

あっという間に2年になりました。この間の皆様のご支援、ご指導に心から感謝申し上げます。

1 佐藤信秋の国会活動

● 2009.1.5第171回国会（常会）開会

1日も早く20年度第2次補正予算、21年度当初予算と関連法案を通し、景気対策を推進することが最優先。

20年度第3・四半期のGDPはマイナス12.7%

その上で、21年度早々に更なる景気対策を出動すべく準備の推進を。

- ・ 20年度第2次補正予算 1月27日衆再可決
- ・ 同関連法案



2009.2.12 「国土交通委員会」

〔財政投融资、特会繰入特例法案
銀行株式保有制限法案〕

未成立（2月末現在）

2月末現在、関連法案が参院で採決されないため、20年度第2次補正予算は、実質的に執行できません。

2 政策与党の景気対策

①100年に1度と言われる未曾有の経済危機に対し、政府与党は隙間なく、3段ロケットで景気を支えます。しかし、野党の反対で第2次補正予算も未だ実施不能(2月末現在)。さらに21年度当初予算成立した後は、更なる大型景気対策の準備も、待ったなしの緊迫状況。



②民主党の政策は財源疑問。

・基礎年金部分国負担、農業個別補償、子ども手当、高速道路無料、ガソリン税暫定税率廃止等の為毎年21兆円近くの国費必要。

・政府・与党の予算の経済対策は臨時に財投準備金等の一部をやむ得ない範囲で取り崩すもの。使ってしまうと、無くなるもので、いわゆる埋蔵金は毎年使えるものではない。

我が国の財政支出

	平成21年度(当初)
国債費を除く歳出(兆円)	68
主 要 項 目	
社 会 保 障(兆円)	25
地方交付税交付金等(兆円)	17
公 共 事 業(兆円)	7
文教及び科学振興(兆円)	5
防 衛(兆円)	5
そ の 他(兆円)	9

3 佐藤信秋のコラム (自由民主党機関紙「自由民主」の「せいりょう欄」)

第2311号 (平成20年2月26日付)

地球温暖化の表れ？日本の雨の降り方がおかしくなっています。今から百年前、全国の年平均降水量は約1,650ミリ、年ごとの変動がプラスマイナス約110ミリです。その後一年に1ミリずつ減って、今は年間約1,560ミリ。しかし、プラスマイナス約185ミリです▼地震・津波対策も急がれます。中越、福岡県西方沖、能登半島、中越沖とここ数年は日本海側に震災が続いています。しかし、これから三十年の間に、宮城県沖では99%、東海・東南海・南海大地震もいつ起きても不思議ではない、とっていなければなりません▼19年度補正予算が2月6日に通りました。災害復旧はじめ、緊急対策補正です。野党が反対で、両院協議会でも不成立のため衆院議決優越で決着しています。国民の安全・安心の確保のため大至急と、わかりきった補正予算案にまで反対するのか？と、反対した党の議員の中にも複雑な思いの方もおられたのでは、と思っています。

第2327号 (平成20年6月24日付)

ミャンマー・サイクロンでは七万七千人余、中国・四川大地震は六万九千人余が犠牲となりました。心からのご冥福と、一日も早い復旧、復興をお祈りします▼わが国には他国の大災害への国際緊急援助隊制度があり、四川では、二日まで緊急医療チームが活動しました▼わが国では、これまで震災、洪水、台風など多くの災害を経験してきましたが、平成七年の阪神淡路大震災以降は、一災害で百人を超える死者は出ていません。インフラ整備が進んだことありますが、ソフトシステムが整備されてきたことも見逃せません▼わが国がこれからはすべきことを二点にしばって強調したい。第一は、防災、減災対策を一層推進する必要があります。第二には、世界中に、わが国のハード、ソフトのノウハウを発信して支援し、安全・安心の国土づくりを広めることこそが、これからの国際社会に果たすべき日本の大きな使命である、と思います。

第2340号 (平成20年10月7日号)

過去最多204カ国・地域から11,200人の選手が参加して、熱闘の17日間の北京オリンピックが閉幕しました。金メダル数は中国51、米国36、日本は8番目の9個で前回・アテネ大会の半分でした▼閉幕後に、中国がすごい金額の強化費をつぎ込んでいたことも分って、メダルの数と強化費用との関係なども話題をさらい、「日本もオリンピック強化費を倍増しよう」という意見も強くなっています▼確かに選手の練習環境を整え、没頭してもらうためにも強化費を増やすのは必要だ、と思います。またそれ以上にトップアスリートたち個々の生涯設計に配慮する必要があると考えます▼トップアスリートとなり、メダルを取り、それから先の人生では、いかなる選択肢を用意できるのか。指導者への道、プロへの道以外にも多様なチャレンジへの道を開くことこそが、アスリート養成充実のための大切な国家の役割の一つと考えています。

第2358号 (平成21年2月24日付)

義家弘介参院議員が大学で講義した時の目からウロコの話。授業前、定額給付金には学生の大半が反対だった。「君たちが主役になって公金を使えるのだが、何に使いたいのか？」と考えさせたら授業終了時にはほとんどが賛成に。「母に老眼鏡を」など、なるほどという使い途(みち)も沢山(たくさん)あった▼地元商店の割り増し付き商品券や、福祉施設の作品購入など自治体も寄付を募って知恵比べになっている。この大変な経済危機を乗り越えるために、麻生総理の言葉のように「日本は強く、明るくなければならない」▼野党の「反対のための反対」「その場限りの実行不能の聞き心地の良い口先だけの約束」に対し、分かりやすく国民に自ら考えていただくことが、わが党支持拡大への最重要行動の一つと痛感しています。

	英	仏	中	米
発表時期	11月24日	12月4日	11月27日	2月13日
規模	総額200億ポンド(2.7兆円) (GDPの1%超に相当)	総額260億ユーロ(3.1兆円) (GDPの約1.3%に相当)	2010年までに約4兆元(55兆円)	7872億ドル(73兆円) (投資4989億ドル 減税2883億ドル)
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値税を17.5%→15% 雇用対策、公共工事の拡大(30億ポンドを前倒し) エネルギーの効率利用、鉄道輸送分野での支出増 	<ul style="list-style-type: none"> インフラの前倒し(80億ユーロ) 企業の資金繰り支援(114億ユーロ) 雇用対策(12億ユーロ) 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅保障(2800億元) 農村生活、農村インフラ(3700億元) 鉄道、道路、飛行場、電力網(1兆8000億元) 医療衛生、文化教育(400億元) 環境(3500億元) 地震災害復旧(1兆元) 	<ul style="list-style-type: none"> 農業、地域開発、食料医薬品(264億ドル) エネルギー、水開発(508億ドル) 労働、健康、教育(713億ドル) 交通、住宅、都市開発(611億ドル)



2009.01.08 日本工業連合会の皆様と新年のご挨拶



2009.02.06 石原東京都知事の要望に随行(国土交通大臣へ要望)

お問合せ・編集部

「信秋タイムズ」は、参議院議員佐藤信秋の政治活動に共感していただける方にお送りしております。
毎号ご希望の方は、是非、編集部までご連絡ください。

E-mail : info@sato-nobuaki.jp
FAX : 03-5512-2503

さとう のぶ あき 佐藤信秋 プロフィール

昭和22年 新潟県に生まれる
昭和47年 京都大学大学院修士課程修了
昭和47年 建設省入省(現国土交通省)
平成17年 事務次官(平成18年7月退官)
平成19年 参議院議員選挙 初当選

国会事務所
〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館503号
TEL 03-3508-8503 FAX 03-5512-2503

後援会事務所
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-4-2 九段ウィズビル2F
TEL 03-3262-6635 FAX 03-3262-1900

新潟事務所
〒951-8127
新潟県新潟市中央区関屋下川原町2-45
TEL 025-267-2455 FAX 025-267-2466